

第2回 阪神高速道路株式会社経営改善委員会
議 事 概 要

1. 日時：平成23年12月7日（水） 10:00～12:00
2. 場所：阪神高速道路株役員会議室
3. 出席者：斎藤委員長、石原委員、矢野委員、
川邊委員（代理：関西経済連合会地域連携部 神田部長）
4. 議事要旨
 - 「議事(1)都市高速道路サービスのあり方と経営体制について」「議事(2)コスト縮減について」「議事(3)発注の競争性・透明性の向上について」の3題について、事務局より説明の後、委員から以下のとおり意見が出された。
 - * 阪神高速のサービスとしては、第一義的に「速達性」であることを認識すべき。
 - * グループ経営によるメリットを定量的に示すべき。また、料金収受会社の2社体制が最適かどうか検証すべき。
 - * 管理水準について、管理指標の数値化によるマネジメントは評価できる。
 - * グループ全体での「最少経費最大効果 (Value for Money)」といった視点が重要。
 - * コスト縮減については、サービス水準低下との関連性を分析しながら、ストーリーを作成すべき。
 - * 人件費削減は、社員の意識低下等のデメリットとのバランスを保つことが必要。
 - * 新規採用抑制等については、短期的にはコスト削減になるが、人命を預かる会社でもあり、中長期的な視点で考えるべき。
 - * 長期的な経営改善のためには、コスト縮減の社員の努力にインセンティブを働かせることなどが必要。
 - * 第三者機関における子会社との契約のチェックに当たっては、最少経費最大効果になっているかをチェックするべき。

○「議事(4)その他」として、第3回委員会にて、地方自治体からのヒアリングを実施することについて、事務局より説明があり、了承された。

○次回開催は、平成24年1月26日(木)となった。

以 上